令和８年度　第１回宮津市子ども・子育て会議 会議概要

令和８年９月 24 日(木)13：30～15：00
福祉・教育総合プラザ４F　第４コミュニティルーム

１　開　会

２　健康福祉部長挨拶

３　宮津市子ども・子育て会議委員等の紹介

４　報告事項　･･･資料１

５　第３期宮津市子ども・子育て支援事業計画における令和７年度施策の実績について

１）教育・保育事業等の量の見込み等に係る実績　･･･資料２

〇ファミリーサポートの利用件数の伸び悩みについて

［委員］　ファミリーサポートの利用件数が伸び悩んでいるとのことであったが、件数が伸びない理由として、それほど必要とされていないのか、あるいは利用上難しさがあるのか、その辺りについて伺いたい。

［事務局］　ファミリーサポートについては、昨年度（令和７年度）久しぶりに活動実施出来たところである。現在“まかせて会員”の増加を課題としており、会員の掘り起こしを行い、新規登録の増加に努めているところである。会員数がそれほど不足しているわけではないが、過去に依頼があった際実施できる会員がいなかった事例もあり、何か依頼があった時になるべく実施出来るよう会員数を確保していきたいと考えている。

〇乳児家庭全戸訪問事業の計画数と実績の乖離について

［委員］　乳児家庭全戸訪問事業の実績が 40 名と報告があったが、計画は 62 名であった。元々対象者数自体が少なかったためであり、訪問出来ていない家庭は無かったと考えてよいか。

［事務局］　令和７年度大幅に出生数が落ち込み、対象者数は 43 名だったかと思う。そのため、一定訪問は実施出来ている。

［委員］　事業としては全戸訪問のため残りの３世帯はどうだったか少し気になる。自治体として数名でも漏れの無いよう心掛けていただきたいところだ。

〇養育訪問支援事業の計画数と実績の乖離について

［委員］　養育訪問支援事業の計画数は２名となっているが、令和６年度の実績は７名となっている。今後の目標値も２名となっているようだが、その辺り確認させていただきたい。

［事務局］計画数については、令和６年度に令和４年度からの５ヶ年計画を作成した際に、過去の実績の平均値を算出したものである。令和６年度は実績としては少し多かったということで、令和７年度以降見込みが小さく見えてしまっているが、過去からの平均値としては２名ということであるため、この数値を用いている。

２）主要事業と個別施策の実施状況・・・資料３・資料４

６　令和８年度子ども・子育て支援に係る主要事業について【資料５】

○宮津市子ども・子育て支援事業計画全体を通しての意見

［委員］　昨年、京都府子ども議会という取組があり、小学校５、６年生の子どもたちが、そういうこと（子育て関係の施策）についての発言（意見）をしており、京都府の北部に小さい子どもも楽しめる児童館を作ってほしいという意見が出されていた。
子どもたちも意見を持っており、そういう声に耳を傾け汲み上げていくことが自治体としても必要だと感じた。この子育て支援の実績評価をする際に、子どもの意見や感じたことなどを聞く機会を設け、１つの評価軸にしていくのはどうか。
子ども自身が今の宮津の環境をどう感じているか、声を汲み上げることを考える時期に来ているのではという印象を持った。

［事務局］貴重なご意見をいただき感謝申し上げる。今後子どもたちの声も取り入れることを検討していきたい。

７　放課後探究スクール「Q-port」について【資料６】

○放課後探究スクール「Q-port」についての意見

［委員］「Q-port」推進事業については、大学生・高校生などの協力を得て良い循環になっていると感じた。先ほども述べたが、子どもの声を聴くということも合わせて連動させていくと子どもや関係者の負担もあまり大きくなく出来るのではないか。

８　こども性暴力防止法の施行について【資料７】

○性暴力防止に関わり宮津市の関連事例の有無について

［委員］　性暴力防止については、海外に倣い日本も遅ればせながら取り組んでいるところだ。京都市内・関東の保育所では男性保育士の割合が高く、最近は保護者の方から男性保育士が乳児の着替えやおむつ替えの業務をすることに対し抵抗意見があり、業務を担当しない方針を保育所会議で決めるようなこともあるようだ。宮津市の男性保育士の業務内容について、保護者から意見や相談が無いか確認したい。

［事務局］　今のところ私共はそのような事例は聞いていない。

［委員］　かなり昔男性保育士がいた際、母親が心配し意見をいただいたということもあったようだが、現在は男性保育士はおらず、そのような事例は無い。

［事務局］　現状事例は無いが、今後も注意深く確認に努めてまいりたい。

９　意見交換

10　閉会